

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和4年度）

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設
指定管理者の名称	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体
施設所管部課（室）	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
平成31年4月17日～	指定管理者	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体
	所在地	仙台市太白区日本平9-13
指定期間	平成31年4月17日～令和6年3月31日（4年11ヶ月）	
募集方法	○公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設		
所在地	名取市杜せきのした五丁目3番地の1 イオンモール名取		
設置年月	平成31年4月17日		
根拠条例等	名取市子育て支援拠点施設条例		
設置目的	小学校就学の始期に達するまでの者及びその保護者に交流の場を提供するとともに、子育てを総合的に支援し、もって子育て家庭の福祉の増進に寄与するため、子育て支援拠点施設を設置する。		
施設の内容	赤ちゃんひろば、ふれあいひろば、相談室（授乳室）、オムツ交換室、エントランス等		
開館時間	水曜日を除く月曜日～日曜日 午前9時～午後5時		
休館日	水曜日、祝日の翌日、年末年始（12/29～1/3）		
指定管理者が行う管理運営業務	乳幼児及びその保護者同士の交流の場の提供に関する業務、子育てに係る相談に関する業務、子育てに係る情報の収集及び提供に関する業務、子育てに係る事業を行う者等と連携した子育て支援に関する業務、拠点施設の目標を達成するために市長が必要と認める業務、拠点施設の維持管理に関する業務		
利用料金制度	採用の有無	有 ・ ○無	
	利用料金の名称		

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
開館日数	300日	301日	254日	99.7%
延べ利用者数	14,159人	12,162人	9,886人	116.4%
利用者数（人/日）	47.2人/日	40.4人/日	38.9人/日	116.8%
主な増減原因	新型コロナウイルスの感染者減少に伴い、制限を緩和したり、安心して利用いただけるよう館内の消毒を徹底するなど工夫しながら運営を行なった。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、%）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
指定管理料	15,300	15,300	15,892	100.0%
利用料金収入				
その他	15	13	10	115.4%
収入計（ア）	15,315	15,313	15,902	100.0%

（2）支出

人件費	11,840	12,606	12,130	93.9%
施設管理費	958	980	749	97.8%
事業運営費	608	1,004	897	60.6%
その他	645	695	703	92.8%
支出計（イ）	14,051	15,285	14,479	91.9%

（3）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	1,264	28	1,423	4,514.3%
前期繰越収支差額	1,657	1,629	206	101.7%
次期繰越収支差額	2,921	1,657	1,629	176.3%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

新型コロナウイルス感染症による利用制限は行なってきたが、年間を通して開館時間や人数制限が大きく変わることなく開館することができた。そのため、利用者にとっても利用しやすく、利用者数が増えている。また、ニーズに応じたイベントを開催することで、乳幼児親子の繋がりを促すことができ、その後の継続した来館にも繋がっている。

具体的には

○親子同士が出会う場となるよう工夫を行った。

「きらりん～ママと赤ちゃんのふれあいタイム～」「なとここ（転勤ママ）」「はじめてのcocoI' 11」など。

○産前産後の支援として、助産師さんを講師に迎え、第1子妊娠中の夫婦を対象にした「welcome Baby! プレパパ・ママ講座」や生後2か月～5か月までの親子を対象とした「助産師サロン ぽかぽか」を年3回ずつ開催した。妊娠期からcocoI' 11を知ってもらうことで、産後、cocoI' 11を目指して来館が期待でき、親子の孤立を防ぐ効果が見られている。

○相談対応をきめ細やかに行った。

新規登録の際や日常のひろばの中で、利用者と信頼関係が築けるように心掛けたことで、居場所として日常的に来館してくれる親子が多かった。また、昨年度に引き続き、子育ての不安感・負担感の軽減を図るため、親同士の悩みの共有ができる場として、「育ちの楽校」を開催した。

また、相談の内容として、親自身の体調不良や精神面、夫婦関係、家族関係の相談が増えてきていることもあり、グループ相談として実施していた「こころん」を、個別相談として開催し、必要な支援に繋がられるようにした。相談の内容によって、保健センターなど専門機関に繋がられるよう、情報を共有し双方で親子を支援できるようにした。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

利用者からは「cocoI' 11に来て誰かと話すことで大変な時期を乗り越えられた」「親も子もリフレッシュできる」「コロナ禍でも安心して利用できる」という声を多くいただいた。

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくると利用人数が増えたが、利用者は親子同士で交流できることを喜んでいた。安心して利用できるよう、消毒の徹底や利用者用の消毒タオルをこまめに確認し補充するなどの工夫をしながら開館した。

父親の利用を促進するため、父親向けのイベントを毎月開催することで利用するきっかけとなり、その後の利用に繋がっている。休日は父親の利用が多くあるため、温かく迎え入れる雰囲気づくりを大切に、居心地よく過ごせるようにしたことで、父親の継続した利用が増えている。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

○多胎育児、一人親家庭、子どもの発達など、困難さを抱えた親への支援が課題と感じている。親向け講座や専門家への相談事業など、実施できるようにしていきたい。

○イオンモール名取との連携事業が飛び込みで入ってくることもある。年間計画で立てている事業の合間に、協力をしながら実施していきたい。

○コロナ禍が5類に移行することで、飲食がいつでもできるようになったり、マスクの着用が不要になることで、不安に思う保護者も一定数いると考えられる。気持ちに寄り添って運営していきたい。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
	2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。			○	○
自主事業の 実施		施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	◎	◎
利用者の満足 度向上		利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	◎	◎
利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応		利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
利用状況等		利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

施設が実施しているアンケートの結果では施設利用の満足度や職員に対する満足度が「大変満足・満足」の評価が9割を超えており、利用者の満足度向上への取り組みの成果があらわれている。
『ばばいる』や『はじめてのここいる』など、利用ターゲットをより具体的にすることで、父親やここいるを利用したことがない初心者の方も利用のきっかけとなり利用者促進にも一役買っている。
また、季節の行事やイベント等も定期的を開催することによって既にここいるを利用していた方にも定期的に訪れて楽しめる居場所にもなっている。
今後も利用者のニーズを反映した事業の展開と、利用者の満足度の向上に取り組むことを期待している。